

事業所名		児童発達支援 和（にこ）				支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		17 日	
法人（事業所）理念		・子供達が 楽しみながら 「できた 」 「楽しい 」 「嬉しい 」 と感じながらも 自然と、発語・基礎運動能力・社会性・思考性・自発性を 身につけられる 療育を 提供して行く。 ・職員一同、保護者様と お子様 に 寄り添い少しずつ お子様の できることを増やし、共に 喜びを感じ 自信や安心へと繋げていく。													
支援方針		・今に 着目するのではなく、未来を見据えてできるだけ 小さな頃から様々な療育を受けることで 子供たちの未来を変えていく。 ・様々な専門分野からお子様一人ひとりに合った療育を提供して行く。 ・落ち着いた 環境の中で しっかりと 療育を 受けられるよう 個室を 提供していく。また、小集団活動もう来ない、のびのびと楽しくコミュニケーションの幅を広めて行く。													
営業時間		8 時		0 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無		<div>あり</div> なし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・日常生活動作（身支度・排泄・身だしなみ・移動動作など）の向上を図るため、児童一人一人に合った伝え方・方法・問題点・解決方法を分析し対応していく。 ・食育を兼ねて、夏場は畑作り（トマト・きゅうり・イチゴ・芋など）を育てる経験やおやつ作り行い、様々な食材に触れることで（5感を感じる）食への関心を深めていく。													
	運動・感覚	・さまざまな活動を 取り入れていく。（レクリエーション・感覚遊び・音楽活動・創作活動など） ・感覚導入を行い、お子様本人が 自ら ボディイメージが持てるように 支援して行く。ボディメージがもてることで力加減や距離感覚・見る力などを発達していく。 ・野外活動も行い、さまざまな道具に触れることで、体の使い方・体力・筋力を高めていく。													
	認知・行動	・個別療育や小集団活動で自ら創造する力を持てるように、プリント学習だけでなく自ら体験や経験をし考える・創造することを伸ばしていく。また、危険回避能力にも繋げていく。 ・物の理解なども一つ一つ経験をしていくことで認知力（記憶・計算・言語・思考・注意・理論・推測・聴覚情報処理・視覚情報処理）の向上に繋げて行く。													
	言語コミュニケーション	・児童一人一人にあった方法で、言葉やコミュニケーション能力を伸ばしていく。（絵カード・コミュニケーションツール・語彙力・動作と言葉を添えて伝える・体への感覚導入を行い、コミュニケーションを伝えるなど）													
	人間関係社会性	・自分の気持ちや考えを言葉にできるように支援して行くと共に（言葉以外にも伝える方法があることも教えていく）、さまざまな考えや相手の気持ちも受け止めながらお互いが納得できるよう支援していく。 ・自ら挨拶をする・外出を通し、その場所によって様々なルールがあることを理解していけるよう支援していく。 ・苦手なことや興味関心の薄いことに対しても、自信がもてるよう気持ちの切り替えの選択しや工夫の方法・失敗から学ぶことの大切さ・お友達と協力し合い1つの物を作り上げ嬉しい気持ちや達成感を共に感じる大切さを伝えていく。													
家族支援		・毎月、発達についての保護者勉強会を実施する。 ・保護者同士や職員との交流を深められるよう交流会を実施する。 ・お子様についての困りや悩みなど、的確に助言を行う。						移行支援		・インクルージョンに向けた取り組みとして、地域や保育園・幼稚園との交流を設けていく。					
地域支援・地域連携		・幼稚園、保育園、相談支援事業所、学校などと 定期的に 情報共有を行ない、統一した支援や関わりができるよう実施していく。						職員の質の向上		・月に一度、虐待防止研修・感染予防等の社内研修を実施する。 ・育成担当を設け、職員の自己評価や目標シートを使用し定期的に面談を行ない職員の評価を行っていく。 ・市町村で行なっている研修に積極的に参加する。					
主な行事等		・誕生日会・クリスマス会・ひな祭りイベント・こどもの日イベント・節分イベント・ハロウィンイベント・お花見・外出・おやつ作りなど季節に合わせた行事を実施する。													